

Euglena Group

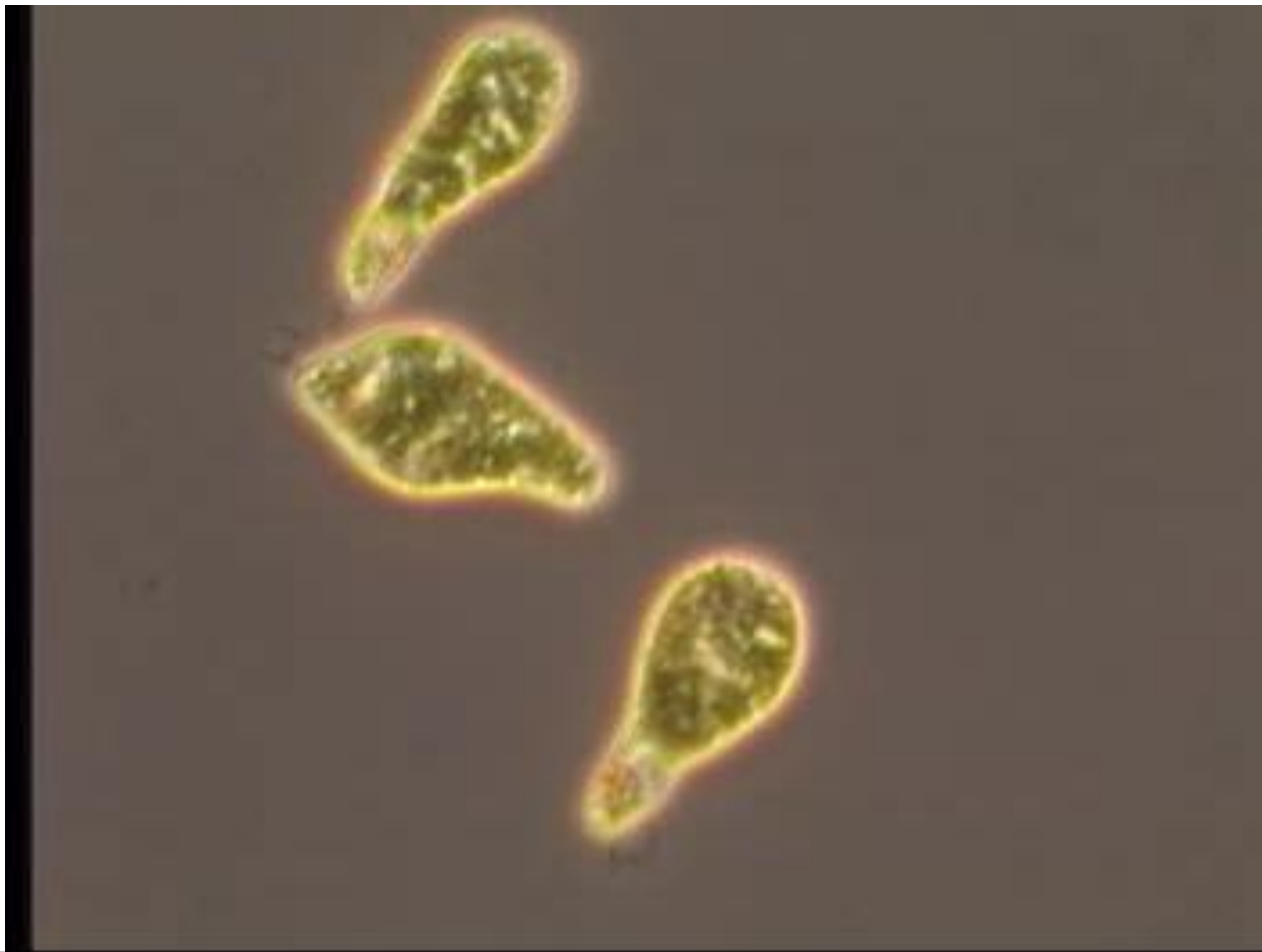
日興IR個人投資家向けIR セミナー 事業説明と今後の展望

株式会社ユーグレナ
東証プライム市場（証券コード：2931）

2026.7.25

【免責事項】 本資料に記載されている予測、見通し、戦略およびその他歴史的事実ではないものは、当グループが資料作成時点で入手可能な情報を基としており、その情報の正確性を保証するものではありません。これらは経済環境、経営環境の変動などにより、予想と大きく異なる可能性があります。

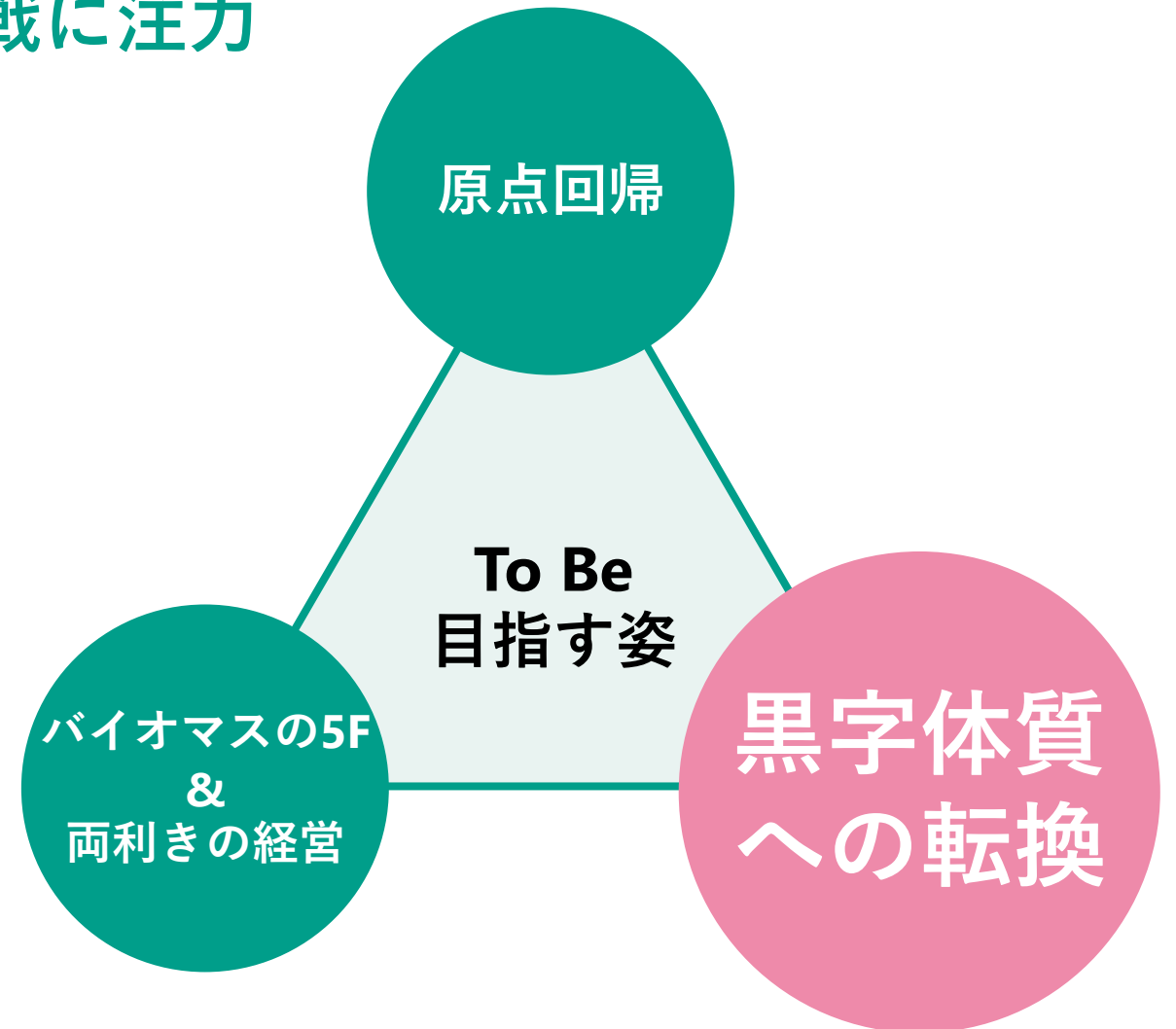
株式会社ユーグレナとは？



元祖ミドリムシ培養
20年以上の実績
独自ノウハウを蓄積

新経営体制への移行から2年

2024~2025年は「黒字体質への転換」を集中的に推進、
2026年は新たな成長に向けた挑戦に注力



ユーグレナ社は進化しました！

これまで

『良い会社だけど、赤字』

社会性◎

将来性◎

収益性×



現在

『黒字で、強い会社』

社会性◎

将来性◎

収益性◎



売上高

ヘルスケアが成長率引
過去最高の
売上高を達成

500億円突破！

(億円)

600

■ ヘルスケア ■ バイオ燃料 ■ その他

504億円

500

400

300

200

100

0

FY2023

FY2024

FY2025

+8%

調整後EBITDA（現金創出力）とマージン

売上増以上に
稼ぐ力が改善

2年間で3倍！

(億円)

80

60

40

20

0

グループ横断で
収益構造改善を
実施

69億円

20%

15%

10%

5%

0%

22億円

5%

14%

FY2023

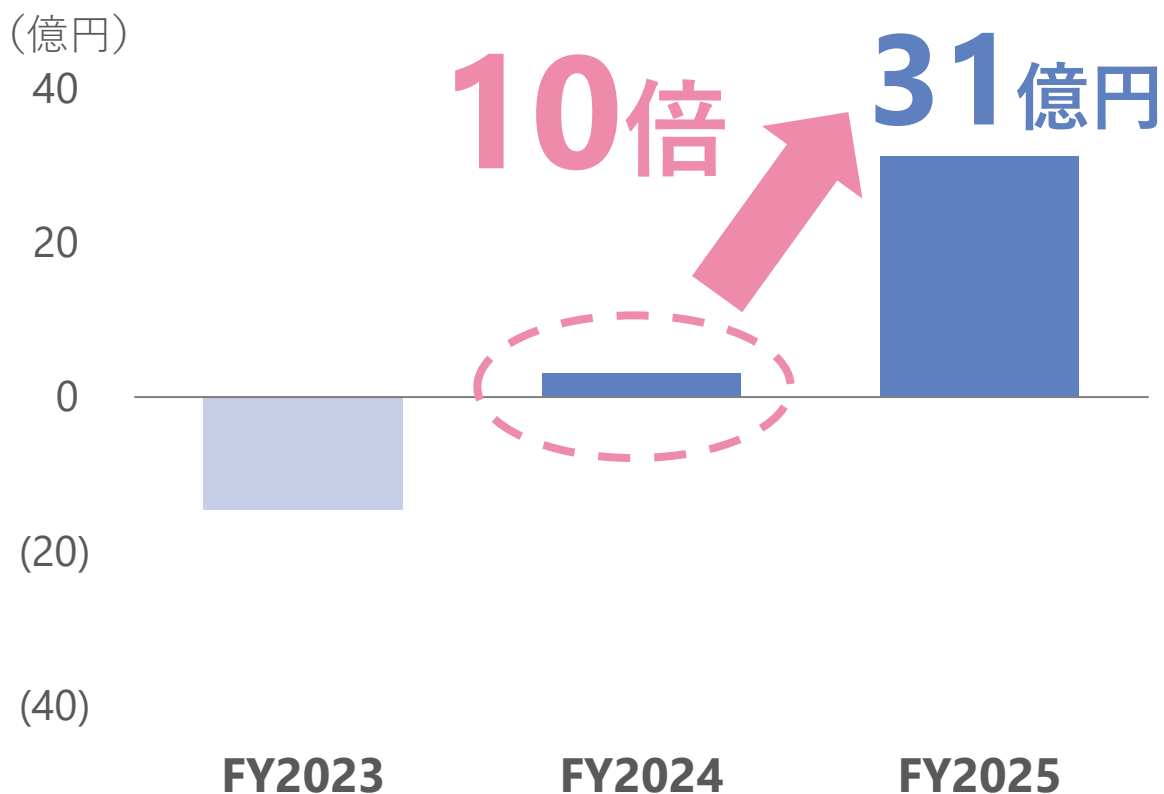
FY2024

FY2025

黒字体質への転換

営業利益は24年に黒字化達成、25年は1年で10倍の成長
今期、当期純利益の黒字化を目指す

営業利益



当期純利益



2030年度目標 - 売上高

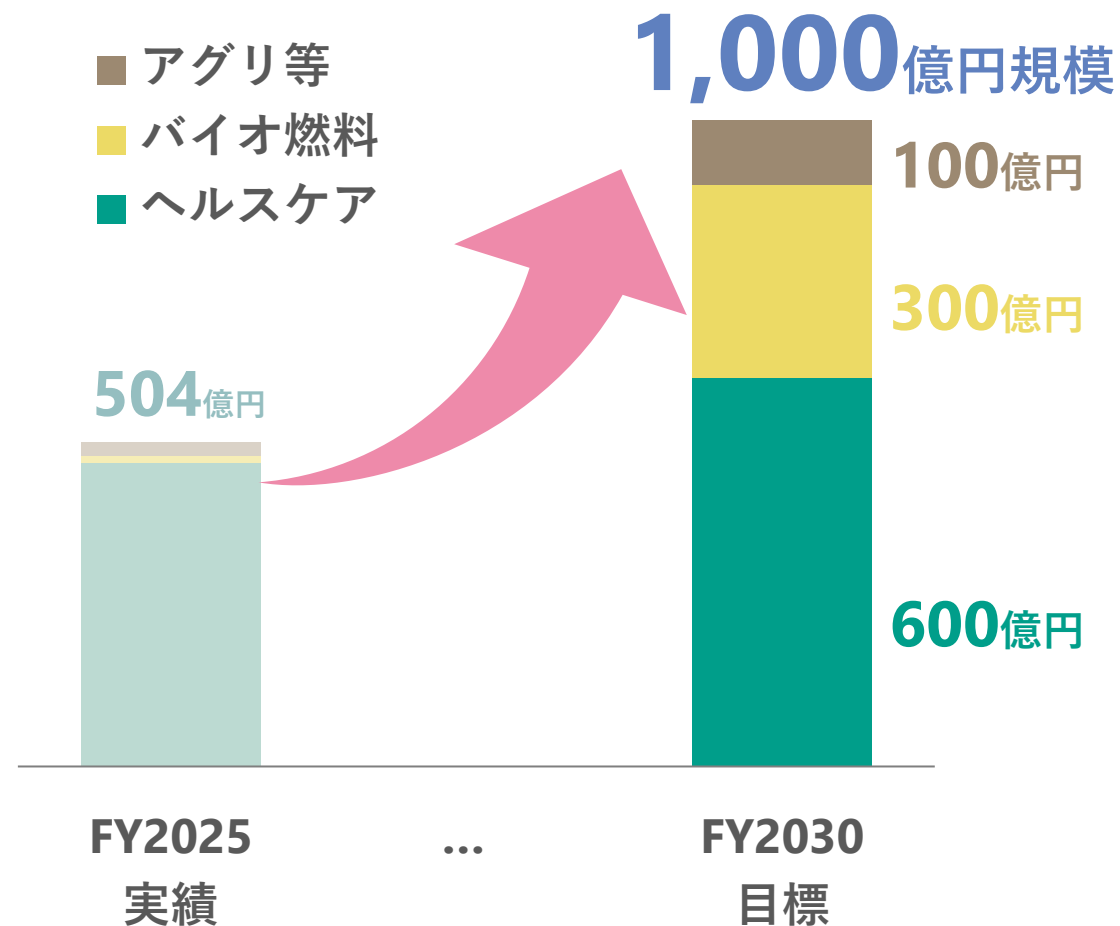
バイオ燃料商業プラント
の本格稼働により、

飛躍的な
成長を目指す

売上高

1,000億円規模！

売上高

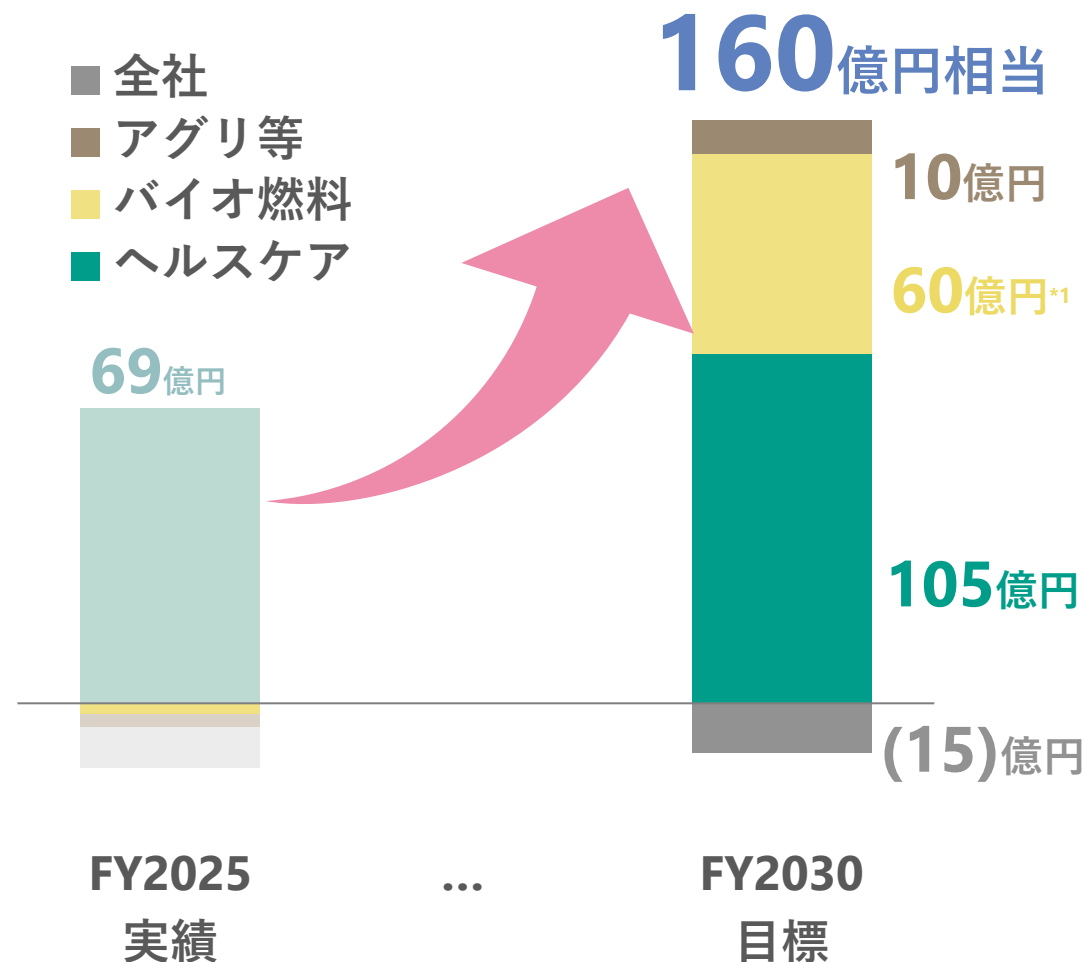


2030年度目標 - 調整後EBITDA

調整後EBITDA

ヘルスケアの成長と
バイオ燃料の商業化で
利益成長を加速

5年間で2.3倍！



ヘルスケア事業

多様なブランドポートフォリオ

25年に直販定期顧客数が反転。からだにユーグレナが成長をリード

定期顧客数推移

71 70 71万人

反転

Q'SAI

からだにユーグレナ
épauler
mej

FY2023 FY2024 FY2025

からだにユーグレナ

ブランドポートフォリオ

からだにユーグレナ

からだにユーグレナ



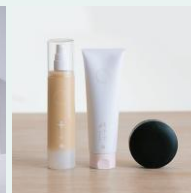
one



CONC



akyrise



Q'SAI

ひざサポート
コラーゲン



ザ・ケール

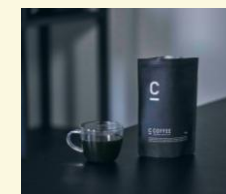


コラリッチ



mej

C COFFEE



épauler

epo



ユーグレナ通販の再成長

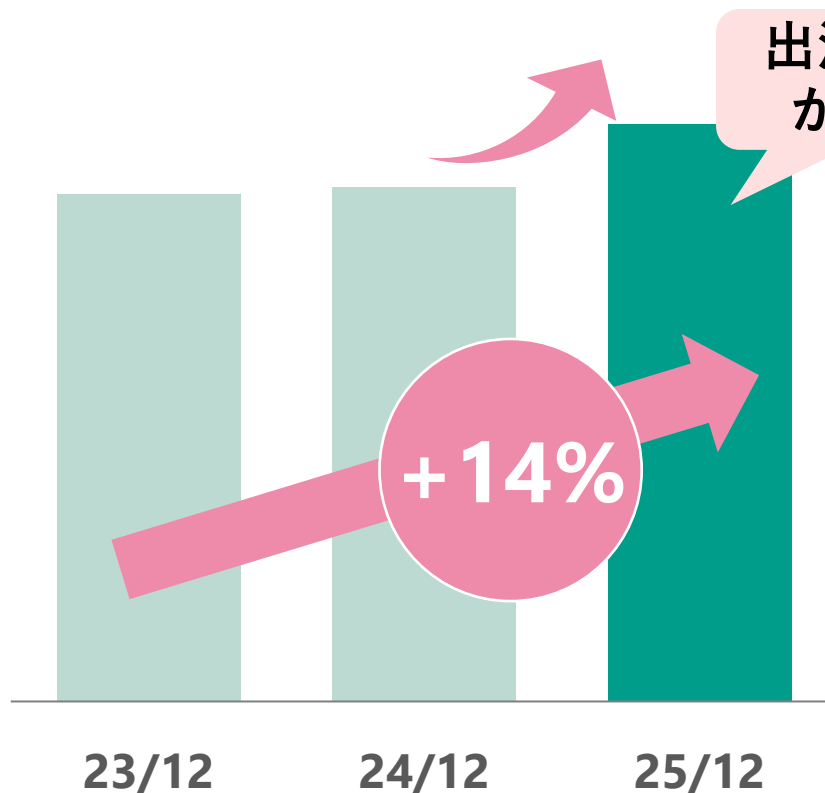
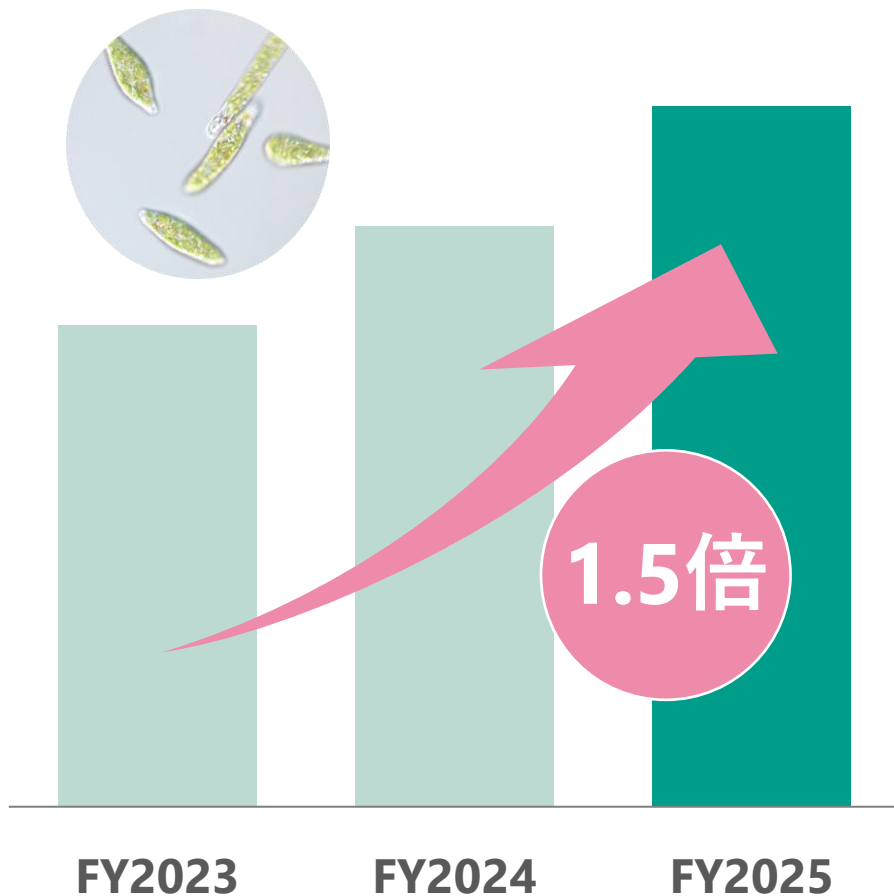
ユーグレナ商品の通販売上が2年で1.5倍、最盛期に迫る水準まで復活

ユーグレナ商品通販売上*1（単体）

定期顧客数の推移

からだにユーグレナ（健康食品）

出汁商品
が好調



継続率の高い
基幹ブランド

シニア世代向け商品

59種類の栄養素と機能性表示で、『毎日の健康』を支える

お悩み



年齢とともに、
複数の健康課題を抱える時代

健康を支える商品群

59種類の栄養素



機能性表示食品



子育て世代向けお出汁のヒット

忙しいパパママの「時短×栄養」需要を解決。そっと日常に浸透

ヒットの理由

- 共働き家庭の“時短×栄養”ニーズに刺さる内容
- 料理シーンで再現性UP
- ママ目線の作り方への共感（火を使わない・冷凍ストック）

定期顧客数
1万人突破

お客様の声

バレずに
鉄分補給



考えなくて
いい栄養



海外展開の本格化

アジア・米国で製品販売、OEM、展示会出展を推進



中国



韓国

米国



フィリピン



シンガポール



バイオ燃料事業

バイオ燃料市場

脱炭素規制とエネルギー安保が需要を創出

SAFの混合義務化

日本

● 2030年に10%導入



バイオ燃料事業 - 商業プラントの建設



マレーシアPETRONAS社の敷地内に建設中



1-グレナ



PETRONAS



- 製造能力：約**72.5万KL/年**相当*2
- スケジュール：**2028年下期迄**の稼働開始予定

売上高（原料/製品トレーディング）

300億円/年規模

税引前利益（資金調達影響を除く）：

60億円/年以上 + トレーディング利益

取扱量
10万KL/年

*1: 約13億米ドルを150円/米ドルで換算

*2: SAF、HVO、バイオナフサの製造量

*3: バイオ燃料取扱量約10万KL/年相当、バイオ燃料価格@300円/L、本合併会社の純利益率20%以上・配当性向100%（資金調達影響は加味せず）という前提条件のもと、例示を目的として作成した当社独自のシミュレーション値。当社又はプロジェクトの正式な予測値・目標値ではなく、今後の事業進捗や市場動向により変動

バイオ燃料事業 - 国内のSAF/HVO供給事例

電化が困難な液体燃料領域での需要が増加

供給実績
130件以上

SAF



商業用ジェット機



政府専用機



航空自衛隊戦闘機

次世代バイオディーゼル燃料（HVO）



運輸・物流（バス・トラック、鉄道）



船舶・商船



建設重機



ボイラー（工場）

注：2018年10月～2024年1月まで稼働していた実証プラントで製造したSAF/HVOの供給、および2024年2月以降の輸入品の供給

バイオ燃料事業 - 路線バスでのサステオ51導入

電化が困難な液体燃料領域において、サステオ51の本格導入も進展



東急バス

実運用での導入 **初事例** (2026年4月～)

バイオ燃料混合比率：51%

導入台数：65台

使用量：1,000KL/年



最後に

2030年度目標 - 売上高

バイオ燃料商業プラント
の本格稼働により、

飛躍的な
成長を目指す

売上高

1,000億円規模！

売上高

